

PRESS RELEASE

# 摂津市の中学生向けに、学習用端末の利活用ルールを考える職種体験を実施

## ～摂津市教育委員会のキャリア教育に参加し、利用者目線のICT教育を模索～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、大阪府摂津市教育委員会(教育長:箸尾谷 知也(はしおだに ともや)、以下、摂津市)の職種体験プログラムに参加し、摂津市の公立中学校2校の2年生向けに、学習用端末の利活用ルールを考える授業を実施します。

同プログラムは、摂津市のキャリア教育の一環で、生徒が企業の課題と企業努力を知り、チームで協力して課題を解決することで、これからの自分の生き方について考えるきっかけをつくるのが目的です。17の企業等が参加予定で、各企業が中学校にてオリジナルの授業を行います。

デジタルアーツはこの取り組みに参加し、今月から12月にわたり3日間、摂津市立第二中学校と摂津市立第四中学校の2年生(各校数グループ)向けに、学習用端末のルール作りのオンライン授業を実施します。摂津市はかねてよりICT活用に積極的で、文部科学省が推進する「GIGA スクール構想」における端末導入にいち早く取り組み、端末を活用した授業をスタートさせています。このことから、学習用端末を安全かつ便利に活用するためのルールを生徒と一緒に考えることとしました。

### 安全かつ便利に端末を活用できるルールを、生徒目線で考える

7月に実施する第1日目では、デジタルアーツの社会課題である「インターネットセキュリティ」、生徒が身近に感じやすい動画・SNSの投稿による個人情報漏洩などの「インターネットの危険」について学び、ルール作りとフィルタリングの必要性を実感してもらいます。続いて、生徒には、「インターネットの光(便利で楽しい面)と影(危険で恐ろしい面)」を考慮したうえで、学習用端末の利活用ルール(モラル面・フィルタリング設定面)を考える」というテーマのもと、グループごとに分かれてワークに取り組んでもらいます。その後生徒が9～10月の中間発表までに意見をまとめて、プレゼンテーションし、11月～12月の最終プレゼンでデジタルアーツが最優秀作品を選定します。これら生徒の作品については、デジタルアーツのホームページ上でご紹介する予定です。

学習用端末の整備は全国の教育委員会・学校で行われ、これから運用が本格化します。この際、特に持ち帰り学習などでは、生徒が使いすぎや危険な出会いなどを回避しつつ、便利で楽しく学習に取り組めるような環境やルールが必要です。

デジタルアーツは、この活動を通して生徒が自らの未来を前向きに考えるきっかけになるとともに、生徒と学校にとってよりよい学習用端末の活用方法を模索し、ICT教育の更なる発展に向けて貢献したいと考えています。

摂津市中学2年生向け職種体験プログラム 概要	
対象	摂津市立第二中学校、摂津市立第四中学校(各校1クラス)
テーマ	学習用端末の利活用ルールを考える
日程	【第1日目】7月13日(火)[摂津市立第四中学校] / 7月16日(金)[摂津市立第二中学校] 【第2日目】9～10月 [共通] 【第3日目】11月～12月 [共通]

プログラム詳細	
<p><b>【第1日目】企業説明(オンライン)</b></p> <p>①企業紹介 15分 ・講師の自己紹介 ・デジタルアーツは何をしている会社? →フィルタリングメーカー/ インターネット安全利用促進のための活動</p> <p>②インターネット安全教室、企業の課題 55分 ・インターネット安全教室 →「インターネットの危険」とは? →出会い系被害/ネットいじめ/ネット依存/ 動画・SNSの投稿による個人情報漏洩 ・ルール作りとフィルタリングの必要性 →ルール作りのポイント →フィルタリングで出来ること(機能) ・デジタルアーツの課題 →どんな使い方が児童生徒が安全かつ 便利に活用できるのか</p> <p>③ワークショップ 30～40分 ・ワークショップの目的・概要説明 →インターネットの光と影を考慮したうえで、 学習用端末の利活用ルールを作成 学校や教育委員会に提案し、説得しよう ・課題の説明 ・現状のルールの確認 →学校で決められているルール、フィルタリング設定 ・提案準備の仕方 →目的、懸念点、懸念点への対処方法を 明確化・ルール化、提案資料の作成 ・作業 →ワークシートに従って進める ・次の進め方 →ワークシートをさらに詰める (より具体的に、複数考える、等) →提案資料の作成</p>	
<p><b>【第2日目】生徒からの中間報告(オンライン)</b></p> <p>■生徒からデジタルアーツへ課題中間報告      ■デジタルアーツからのフィードバック</p>	
<p><b>【第3日目】企業プレゼン(オンライン)</b></p> <p>■生徒からデジタルアーツへ最終発表      ■デジタルアーツによる優秀チーム選出</p>	

**普及啓発活動（情報リテラシー授業）**

安心・安全なインターネット環境、  
スマートフォンの利活用普及のために、  
保護者、教育者、青少年向けの講演活動



生徒向け	内容：ネットトラブルとその対処法 小学生編      中学生編
教職員向け	内容：児童・生徒をネットトラブルから守る編 他

## デジタルアーツの GIGA スクール構想特別ラインアップ

<https://www.daj.jp/es/lp/GIGA/>

## デジタルアーツの普及啓発活動

<https://www.daj.jp/csr/enlightenment/>

### デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。  
1995年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限するWebフィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>  
＜本リリースに関するお問い合わせ＞

デジタルアーツ株式会社 広報担当 山田 TEL : 090-1555-7254 / E-mail : [press@daj.co.jp](mailto:press@daj.co.jp)

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お電話でのお問い合わせは上記とさせていただきます

- ※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、DアラートおよびDコンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。
- ※ その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の登録商標または商標です。